

教員になる夢、ここで叶えよう。

新潟大学教育学部 学部案内 2022



Faculty of Education



来たれ、
教師になりたい
皆さん！



新潟大学教育学部が最も重視していることは、学生の皆さんが学ぶ意欲を持ち有意義な学生生活を送ることができるようサポートすることです。変化の激しい現代社会における教員は、より高度な専門知識と実践的力量を兼ね備え、他者と協働して主体的に課題の発見と解決に取り組むことの出来る優秀な人材が求められています。そこで総合大学における教育学部では、教員に求められる幅広い多様なカリキュラムを提供しています。さらに「教育実践カリキュラム」としては、1年次から学校現場での体験を含め4年次まで各学年に相応しい学校教育の現場と関わることができます。このように本学部では、理論と実践を通じて実践的で豊かな力を身につけた教員養成を心がけています。

教師をめざす方々が本学部で学ばれることを心からお待ちしております。

「来たれ、教師になりたい皆さん！」

新潟大学教育学部 学部長 八坂 剛史

学生が目指す「教員」とは？

教員という仕事の責任とやりがいについて考える

将来教員を目指す在学生と現任教員の卒業生、ファシリテーターに教育学部教員を交え、「自身の目指す教員像」について深く掘り下げていく。

「教員」という目標

橋本 「二人は教育学部を目指そうと考えた具体的なきっかけはありますか？」

鈴木 「私は以前から、自己表現が上手くできずに、教師や他の生徒から良いところを見取られにくい友達の相談を聞くことが何度もありました。そういった一人でも多く自信をもってもらいたいと考え、どうしてもイメージや思い込みで生徒を見ている先生もいる中、自分は生徒の心の中にあることまで手をのばせる先生になりたいと思うようになりました。」

桑原 「私は元々社会科が好きでもっと社会科の楽しさを授業を通して教えたいと思いました。」

橋本 「そこで小学校がいいと考えたのはなぜ？」

桑原 「やはり社会科なので、教えるのならば中学校がいいかな？とも思ったのですが、学生時代をふりかえった時、私は小学校時代の人間関係に悩みがあったと思う。教育Ⅱ人を育てるものだと考え

た時、より早い出会いが重要なのでは？と考えたからです。」

橋本 「石川先生は現役の小学校教諭ですが、先生を目指したきっかけはどうでしたか？」

石川 「小学校6年生の時に、教員を目指しはじめたのですが、その時の担任の先生に寄り添ってもらった記憶があります。私は体育館で禁止されていたサッカーをして、一年生にボールを当ててしまいました。担任の先生から「そんなにボールを蹴りたいのなら教室でもずっと蹴ってきなさい」と言われ、クラスのみんなに見られながら教室でボールを蹴り続け、すぐに自分のしたことが恥ずかしくなりやめました。ただその場で怒るのではなく、なぜそれをしたらい



けないのか考えさせてくれたこと、今でもとても感謝しています。」

橋本 「みなさんのように教員を志す学生は生徒と先生とのつな

な特産品があることに、他県の人と話す中で、気付いていくことができました。」

橋本 「新潟は程よい田舎、程よい都会だからこそ自然も豊かで、教材研究もしがいがありますよね。石川先生、学生時代と比べてみてどうですか？」

石川 「WJがなかったのととても便利になりましたね！あと、校舎がきれいになりました！笑」

現役の教員に聞く

橋本 「二人は現役小学校教諭の石川先生に聞いてみたいことはある？」

鈴木 「もともと教員になったら『ひとりひとりの子供のいいことを伸ばしたい・知らせたい』と想っていたけど、学習支援ボランティアの活動の中で叱らないといけない場面や正さないといいけない場面に直面することもあるのですが、その場しのぎの言葉しか言えていない自分があります。その子の未来を考えて大事にしていることはなんですか？」

石川 「その子が納得することが大事と考えています。プールで走っちゃダメだよ！と伝える時も何で走っちゃいけないの？というところが抜けていると、表面だけをわからね、なぜいけないのかわからない。また、例えば知的な遅れがあつて言葉の理解が難しい子に対しては、どんなにこちらが言葉

がりがきつかけになっていることが多い印象がありますね。」

「教員」はブラック？

橋本 「そんな中、教員という仕事はブラックだという印象も多いようですが、どうですか？」

鈴木 「授業の準備をしたり、生徒のメンタルケアも大変だと思う。生徒の役に立ちたいという思いが強いから頑張れるのでは？と思うけれど、少し不安ではあります。」

桑原 「先生は忙しいイメージがあります。授業準備はもちろん、いじめの問題。抱え込みすぎて先生が心の病気になるってしまう場合もあると聞きますし、それぞれが忙しい中で『チーム』で取り組んでいるのか不安。」

石川 「実際の教育現場では、『自分の悩みⅡチームの悩み』と考え、報告・連絡・相談しながらみんなに対応しています。手遅れにならないようにすぐに伝え合うよう全員で心がけています。」

橋本 「人を対象とした職場なので正解がないからね。」

で説明しても子どもの納得を得ることは困難になります。けれど教師の工夫で子どもの行動が失敗せずに成功させることは可能です。子どもは失敗していないので、叱る必要がなくなります。子どもが叱らなくてはいけない状況になるということは、私の指導の工夫が足りなかったということも考えます。」



桑原 「採用されたらいきなりクラスを任せられるのが少しこわいなと思っていました。そのため、学生時代のうちにしておい

た方がよいことはありますか？」

石川 「大学のうちにできることは本を読むことと、実習やボランティアに行つて実際の現場をいっぱい見ること！いざ教員になり、一人ひとり個性のある子どもたちと向き合う立場になると、学生時代に少しでも多く現場を見ておくことがプラスになると思います。」

橋本 「教育学部は教員をつくる場所。日々の学びの中で、学生たちが自ら教壇に立っている自分の未来の姿をイメージしながら学生生活を送ることが出来ます。教員という仕事は、学べば学ぶほどその時の経験が生かされる。経験を積み重ねていくことで、自分の思い描く目標の教員像をより明確にしてい

石川 「はい。だからこそ普段のコミュニケーションから何でも伝えやすい環境をつくらうと努めています。一人で悩んでいる人がいたら、その悩みを一人で抱え込まないで皆で考えようよ、という意識を教員皆さんがもっています。」

新潟大学について

橋本 「三人とも新潟大学が母校だけれど、新潟大学についてはどう思っていますか？」

鈴木 「新潟大学は総合大学ということで、いろんな学部の学生がいて男女学年学部関係なく、いろいろな出会いがある大学だなと感じています。この人みたいになりたいと思える場面が多くあり、自分の価値観や考え方も大きく変わりました。」

桑原

「私は陸上部に所属しているのですが、学部外での交流を通して、いろいろな価値観を知ることができると



思っています。様々な価値観の生徒と向き合う必要のある教員には必要な考え方だと思います。」

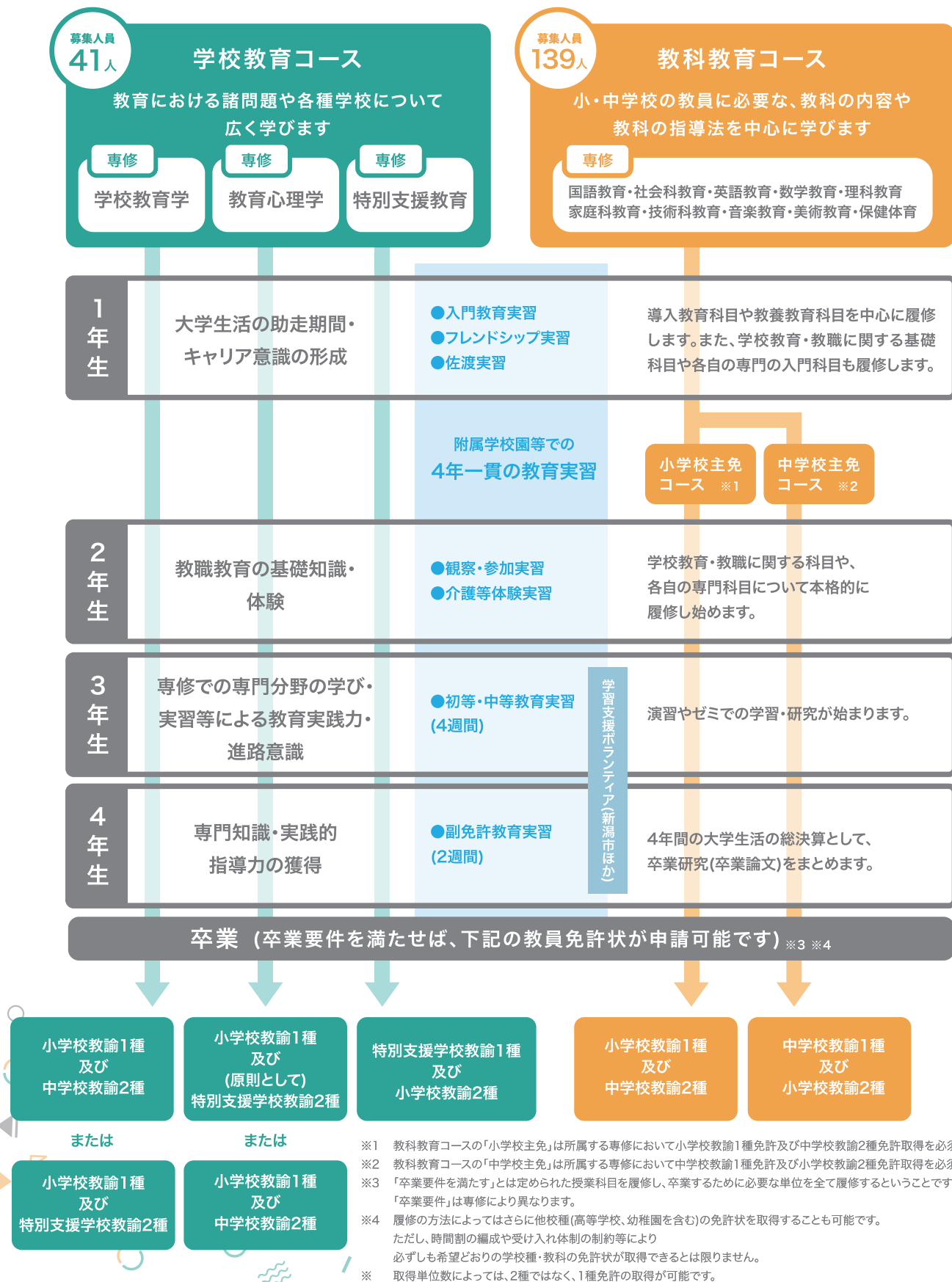
石川 「私も新潟大学教育学部の卒業生です。新潟大学に入学して、新潟の魅力は米だけじゃないんだ！と驚きました。工業製品、農作物・酒・鮭・野菜・果物、他にも様々



カリキュラム内容

先生になるための4年間の道のり

教育学部学校教員養成課程は学校教育コースと教科教育コースの2つのコースで構成され、全部で13の専修があります。出願時にいずれかの専修を選んで受験してください。



コロナ禍での授業体制

教育学部では、オンライン会議システムを使ったリアルタイム授業、動画配信によるオンデマンド授業、ビデオ授業を予め視聴した上で授業時間は演習や質疑応答を行う反転授業など、様々な形態で授業を行い、質の高い学びを提供出来るように準備しています。

また、演習を中心に、感染防止対策を講じた上で対面授業も行っています。



ハイブリット授業の様子(2021年現在)

入門教育実習について

入門教育実習とは？

教育学部1年生を対象とした教育実習カリキュラムで、本学部の大きな特色の1つです。

この入門教育実習は、次の2つを目的としています。

- (1)教育を受ける立場から教育を行う立場への視点・姿勢の転換を図ること
- (2)専門教育を受けるための準備段階を形成すること

平成11年度から始まり、令和3年度においては、12校1園の協力のもとで、学部教員23名の指導体制によって実施しています。

実習内容・スケジュール

5月 ～ 10月	実習校における教育活動への参加・観察 1日学校訪問・1日保育園訪問・授業観察・運動会・遠足・文化祭 など
11月	報告会を開催し、学習成果の報告と交流
1月	活動全体を振り返り、最終レポートの作成・提出



卒業生からのメッセージ

学生時代のかげがえのない時間が、その後の人生の支えとなる

私は新潟大学教育学部において、多くのことを学び、小中高の学校生活では味わえなかった貴重な時間を過ごすことができました。例えば、私の在籍していた国語教育専修では、「国語」に関する様々な専門知識や実践に基づいた教育法などを学び、また、3・4年次には各研究室に分かれ、仲間たちと切磋琢磨しながら、日々研究に明け暮れました。

このようなかけがえのない時間が、現在の教員としての私を支えてくれています。

みなさんもそんな時間を新潟大学教育学部で経験してみませんか。

そしていつか、未来を担う子どもたちの育成にともに関われることを切に願っています。

中学校教諭 堀川 航矢 先生(国語教育専修 令和2年度卒業)



教育学部には2つのコース、13の専修があります

学校教育コース 教育における諸問題や各種学校について広く学びます

小学校教員や特別支援学校教員を養成するコースです。学校教育全体を総合的に捉える広い視野を養い、教員として必要な教育に関する専門的力量を実践的に身につけて、未来を担う子どもたちを育てる教育の専門職としての教員を養成します。

教科教育コース 小・中学校の教員に必要な、教科の内容や教科の指導法を中心に学びます

教科の基礎的・理論的内容と指導力を涵養するとともに、現在の学校教育がかかえる諸課題に即応できる実践的能力を身につけた専門職としての教員養成を目指しています。

1 学校教育学専修

教育の抱える問題に、様々な角度で切り込む
教育哲学、教育方法など、様々な角度から教育の諸問題に切り込み、
子どもの個性と発達段階に応じた教育指導の在り方を学びます。

学校教育学専修
4年
新潟県出身
朝妻さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力

私の所属する学校教育学専修は、教授の専門分野をはじめとする、さまざまな視点から教育を捉えることができます。国語などの教科に特化しない、教育の本質とは何かについて考えているため、教師になった際に力になるのではないかと思います。また、他専修に比べ必修授業が多くないため、小学校以外の免許も取りやすいです。

■ 担当教員からのメッセージ

学校教育学専修では、「自分の言葉で考え、表現できる人間を育てる」ことを重視しています。教員になりたい方も、迷っている方も歓迎しています。

世取山 洋介



2 教育心理学専修

教育の心理に迫る
教育心理学、発達心理学、教育統計学、臨床心理学などの講義や演習を通じて、
学習のメカニズム、人間の発達のプロセス、教育・心理学的測定データの解析、
心理的援助の理論や方法などについて学びます。

教育心理学専修
3年
山形県出身
志貴さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力

わたしは将来、子ども一人一人の「やった!」「できた!」をサポートできる先生になりたいと考えています。この専修で心理学や統計学を学ぶことは、子どもへの声がけや教え方について客観的に考えることにつながり、一人一人にあった手立てを考える上でも強みになるのではないかと思います!

■ 担当教員からのメッセージ

心理学には「興味性の高い学問」という誤解もあるようです。ヒトならではの、外界理解や行動特性に科学的にとりくみます。教育や支援の活動に不可欠な知見や技術が学べます。

神村 栄一



3 特別支援教育専修

障害のある児童生徒の「こころ」に寄り添う
特別支援教育学、障害児心理学・病理学を中心に障害等のある
児童生徒に関する専門的理解を深め、実践的指導技術の学習を通して、
特別支援教育に携わる専門力を学びます。

特別支援教育専修
2年
福島県出身
太田さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力

今の学校現場は多様な子どもであふれており、どのクラスにも発達障害を抱える子どもがいるといわれています。この専修では学校生活や日々の暮らしの中で困難を抱え支援を必要としている子どもたちの為に何ができるのかを学生同士で話し合い、考えを深めることができます。学年同士の関係も良く、温かい雰囲気

■ 担当教員からのメッセージ

人は、多様でみんな違う。でも障害のある人、障害のない人、みんな一緒。学び方はみんな違うけれど、みんな一緒。特別支援教育って、そんな教育。そんなことを学ぶところ。

有川 宏幸



4 国語教育専修

すべての教育の基礎となる
国語科教育学、国語学、国文学、漢文学、書道などに関する講義や
演習科目を学ぶことにより、子どもの学力の基礎となる国語力を
形成する専門的な学習指導力を養います。

国語教育専修
4年
新潟県出身
渡辺さん



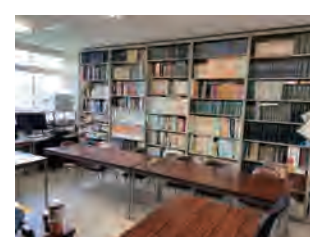
■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力

国語教育専修では、すべての学びの基礎となる国語について、その理論や授業の展開方法などの観点から、アカデミックな内容を学ぶことができます。また、知識豊富な先生方のご指導のもと、漢文・近代文学・読書・現代語・書道といった国語に関する内容を研究することができます。「国語が好き」な皆さんをお待ちしています!

■ 担当教員からのメッセージ

国語という教科は、とても身近である一方、とても奥の深いものでもあります。将来、国語のスペシャリストとして自信を持って授業ができるよう、4年間間で力を蓄えましょう。

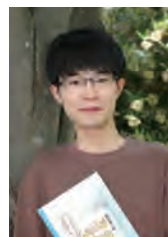
角谷 聡



5 社会科教育専修

社会を見つめ、「今」を伝える
社会科で扱う内容を広く習得しつつ、社会科に関係する人文科学、
社会科学および社会科教育法などを深く研究することにより、
高い指導力をもつ教員を養成します。

社会科教育専修
4年
山形県出身
佐藤さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力

様々な角度から社会を見つめ、新たな発見ができることは、面白いです。また、講義だけでなく、現地調査や貴重な資料に触れるなどの様々な活動があります。活動を通して、肌身をもって社会科の専門力を身につけられることも魅力です。仲間と、そしてあたたかい先輩、先生方とともに社会科を学んでみませんか?

■ 担当教員からのメッセージ

よく知っていることでも違う角度からはまったく違って見えます。経済・地理・歴史・法律・社会科教育学など多様な領域から、「社会」を再発見してみませんか?

小林 繁子



6 英語教育専修

子どもの「世界」を広げる
英語教育学、英語学、英語文学、異文化理解などの専門的知識
および英語の実践的運用能力の習得により、専門的知識に
裏打ちされた授業を英語を使いながら行える英語教員を養成します。

英語教育専修
4年
新潟県出身
横井さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力

英語科の魅力は、学年を超えた縦の繋がりや教授と学生の交流の機会が多いことです。研修旅行や交流会などの楽しい行事があります。また、豊富な知識を持つ教授の下で英語の4技能を高め、英語教育や異文化理解についても学ぶことができます。英語力と教員に必要な力のどちらも磨くことのできる学科だと思います。

■ 担当教員からのメッセージ

英語教育専修には、音響設備の整った教室、学校の教室を模した部屋、協働学習用のスペースなどがあります。こうした設備を活用して、英語力や授業力を伸ばしましょう。

山田 陽子



7 数学教育専修

0から生まれる、シンプルな発想

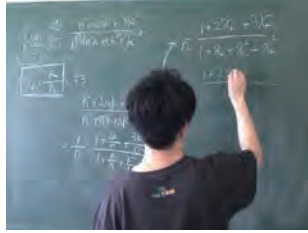
数学教育学と代数学、幾何学、解析学、統計学、情報数学の数学諸分野を専門的に学び、高い指導力と高い専門性をもった教員を養成します。

数学教育専修
4年
新潟県出身
渡邊さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力
新潟大学教育学部は地域と密接に連携しているため、現場を見て知る機会も多くあり、新潟の教育事情が良く分かります。数学教育専修は、他専修と比較して必修科目がそれほど多くないため、一つ一つの授業にじっくりと取り組めることはもちろん、自分の関心のある分野の勉強やボランティア活動などにも一生懸命に取り組めます。

■ 担当教員からのメッセージ
高田 士満
未来を担う子どもたちにとって、算数・数学の基礎学力に基づき、思考・判断・表現ができるようになることは極めて重要です。そのための支援が出来るようになります。



8 理科教育専修

小さな不思議から全てがつながる

自然科学の基礎的な科目を学び、物理学、化学、生物学、地学、理科教育などの専門領域を深め、理科の面白さを子どもたちに伝えられる理科教育の専門家を養成します。

理科教育専修
4年
秋田県出身
阿部さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力
理科教育専修では、各分野の基礎から専門的な内容まで学習することができ、教師に必要とされる知識・技能を身につけることができます。2年次で行う各分野の基礎実験をはじめ能動的に学習できる点が、1人の理科好きとしては堪なく楽しいです。3年次以降には専門性を極めることができ、知識面も充実した学習ができます。

■ 担当教員からのメッセージ
五十嵐 智志
講義や基礎実験、実習により、各分野の専門知識を学んでください。さらに、総合大学の中で幅広い専門性を持った教員や学生との関わり、読書による言語能力の習得などにより、4年間で自身を成長させてください。



9 家庭科教育専修

次の世代に受け継がれる技術

食物学、被服学、住居学、家庭経営学、家庭科教育法などの専門領域を深め、新しい時代に相応しい家庭科教育の専門家を養成します。

家庭科教育専修
3年
長野県出身
浅倉さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力
家庭科と言えば、調理実習や被服実習のイメージが強いと思います。しかし、家庭科教育専修では住居、経済、保育など、様々な分野を学びます。教育学部なので、教育に関することも深めていきます。それに加えて、日々の生活に生かせる幅広い知識や技術を身に付けることができる点が家庭科教育専修の最大の魅力です。

■ 担当教員からのメッセージ
杉村 桃子
家庭科教育専修では、生活の質的向上につながる学習課題を設定し、課題解決的な学習活動を構成して指導できる実践的な力量をもつ家庭科教育の専門家を養成しています。



10 技術科教育専修

社会の基礎・基盤を築く

技術関連領域の基礎と、金属加工、機械、電気、栽培の領域に分かれて専門を深め、自然科学の基礎的な視野のもとに、その応用的、実践的な指導者を育成します。

技術科教育専修
4年
新潟県出身
久保さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力
私が感じる魅力は、協働とつながりです。本学科は多くの実習を行います。実習は苦労も多いですが、仲間と協働することで、集団で何をすれば良いのか、個人でやるべきことは何かを考えて実行する力が身につきます。また、学科の人数も少ないので、横だけでなく縦のつながりも強いことが本学科の特徴だと思います。

■ 担当教員からのメッセージ
下保 敏和
数学、物理、化学、生物など理工系の学力を基礎とした幅広い領域を学習した上で、技術教育の意義と教育方法を学ぶことになります。



11 音楽教育専修

喜びや悲しみ、想いを奏でる

音楽の基礎を広く学ぶとともに、音楽教育の理論と方法について専門的に学習し、子どもたちに音楽の喜びと感動を伝えることのできる教員を養成します。

音楽科教育専修
3年
新潟県出身
佐藤さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力
音楽科では一学年が少人数である為、横と縦のつながりが深くあります。日々充実しており、ここで出会った仲間は今後一生助け合っていくような、そんな尊い出会いだと思っています。実技向上的レッスン、音楽教育に関わる様々な授業を通して、卒業後、音楽教員として活躍できるよう、日々演奏、歌唱、勉学に励んでいます。

■ 担当教員からのメッセージ
鈴木 愛美
音楽教育専修では、音楽の各分野にわたる技能と理論を学び、様々な活動を通じて実践的な能力を養います。将来音楽の先生になる意欲ある方をお待ちしております！



12 美術教育専修

言葉のいらない世界を創造していく

絵画、彫刻、工芸、デザイン、書道、美術理論などの基礎を幅広く学び、その表現法や理論を正しく伝えることのできる美術教育の専門家を養成します。

美術科教育専修
3年
新潟県出身
渡部さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力
美術科教育専修では、教師になった際に役立つ教材研究はもちろん、興味のある分野を自由に幅広く学ぶことができます。1番の魅力は、授業内外での芸術表現や美術教育に関する実践的な活動です。美術科内の講座で企画した芸術表現活動への参加や、学校へ訪問し児童生徒と一緒に制作活動をする機会がたくさんあります。

■ 担当教員からのメッセージ
橋本 学
美術の表現には様々な領域がありますが、専門教員による基礎基本から応用表現まで学べる環境を用意してあります。教材開発を進めながら未来の美術教育を探っていきましょう。



13 保健体育専修

真の健康を考える

保健体育科教育学、体育学、体育方法学、運動学、学校保健などの基礎的・専門的科目を学び、運動に親しみ、健康な心身をそなえた子どもを育成できる教員を養成します。

保健体育専修
4年
新潟県出身
後藤さん



■ 学生の目線から見るコース・専修の魅力
保健体育専修は充実した講義や実践指導を通して、体育・スポーツを多角的な視点から学ぶことができます。また、体育・スポーツへの熱意をもった同期と楽しく切磋琢磨できるほか、どの専修よりも先輩や後輩と一緒に活動する機会が多いため縦の繋がりが強く、有意義な学生生活を送ることができます。

■ 担当教員からのメッセージ
森 恭
子どもの健やかな成長のために「運動」はとても大切です。体育・スポーツを通じて、子どもたちに身体を動かすことの喜びや感動を伝えることのできる教員を目指しましょう。



各専修についての詳しいご紹介は
こちらからご確認ください。



https://www.ed.niigata-u.ac.jp/?page_id=413

教員を目指すみなさんへ

新潟大学教育学部では、1年次から様々な実習があります。実習での授業実践や指導教員からの指導を通して、教員として大切なことは何かということについて考えを深めることができます。私は、質の高い教材研究を支える専門的な知識や、「どんな子どもたちを育てたいか」という目標をもつことが大切だと学びました。これらの学びは、今の私の教員としての在り方を決める大きな要素になっています。教員は未来を担う子どもたちのために力を尽くし、社会に貢献できる、やりがいの大きい仕事です。新潟大学教育学部で学び、教員として一緒に子どもたちの未来を支えていきましょう。

小学校教諭 / 中浜 愛美子 先生(理科教育専修 平成29年度卒業)



Pick up!

就職状況

主な就職先

(令和2年度教育学部学校教員養成課程卒業生)

● 公立学校

・小学校教員

新潟県、新潟市、
青森県、岩手県、秋田県、山形県、
福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、
東京都、富山県、石川県、長野県、
山梨県

・中学校・高等学校教員

新潟県、新潟市、
福島県、埼玉県、神奈川県、
富山県、福井県、長野県、愛知県

・特別支援学校教員

新潟県、
福島県、栃木県、石川県

● 私立学校

● 公務員

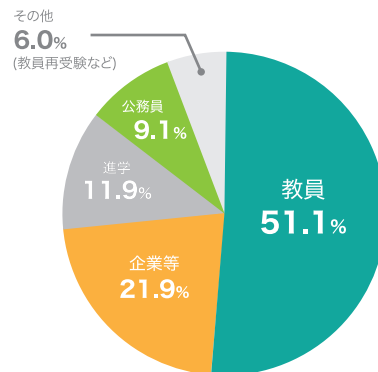
● 企業等

● 進学者

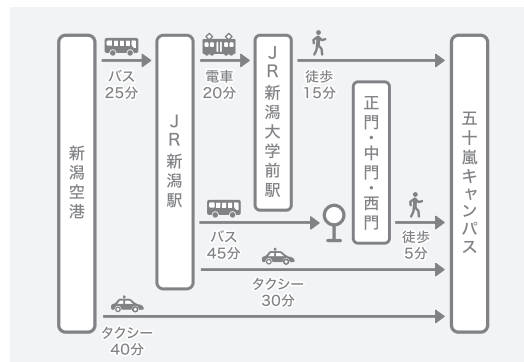
・新潟大学大学院教育実践学研究科
(教職大学院)
・新潟大学大学院現代社会文化研究科
・新潟大学大学院自然科学研究科
・金沢大学大学院教育実践学研究科
(教職大学院)
・東北大学大学院教育学研究科
・東京学芸大学大学院教育学研究科
(教職大学院) 等

進路の割合

(令和2年度教育学部学校教員養成課程卒業生
・令和2年9月卒業含む)



交通アクセス



新潟大学教育学部

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050
TEL: 025-262-7101 FAX: 025-262-7122
MAIL: gakumu2@ed.niigata-u.ac.jp

新潟大学 教育学部

発行: 教育学部学務課 2021年7月発行



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。